



2012年8月1日

公益財団法人ヤマト福祉財団

[社会福祉法人陸前高田市保育協会 陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業]
町の未来を担う子どもたちのため、働く父母のために・・・
新しい保育園建設の地鎮祭が執り行われました

7月30日、来年1月完成を目指す陸前高田市竹駒保育園の地鎮祭が行われました。これは、公益財団法人ヤマト福祉財団(本部:東京都中央区、理事長:有富 慶二、以下ヤマト福祉財団)「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第3次助成先の一つである社会福祉法人陸前高田市保育協会が、震災で大規模半壊した保育園をより安心・安全な高台に移転・新築する事業です。

川を逆流した津波は、海から6キロメートル内陸にある竹駒保育園まで届き、甚大な被害を与えました。子どもたちは分散して他の保育施設に通っていましたが、今年4月に仮設園舎に移り40人の園児を受け入れ、狭い園舎と園庭を活用しながら保育を行っています。未来の陸前高田市を担う子供たちのため、また地域で働く父母のためにも安全な高台で安心して保育ができる新たな保育園の建設が急務でした。しかし、高台移転には、原形復旧が原則の国の補助はつきませんでした。そこで本助成に申請し、昨年の12月に竹駒保育園を高台に再建する費用2億3400万円の助成が決定しました。

新しい保育園は、以前の場所より10メートルほど高い位置となり、近くには小学校や住宅の建設予定地もあり、今後は竹駒地区の教育の中心地として期待される場所です。地鎮祭で戸羽 太 陸前高田市長は「町の未来を担う子どもたちを安心・安全な場所で育てられるようになり大変嬉しく、また復興の大きな弾みになります」と挨拶。村上 和加恵園長も「子どもたち全員をしっかりと受け入れられるよう職員一丸となり準備していきます」と話されました。



●新施設の完成予想図 (規模は1.5倍以上)
木造平屋建て、建物：761㎡、敷地：4061㎡ 園児：70人
定員、職員：18人(旧施設/木造平屋建て、建物：460㎡
敷地：2380㎡ 園児：45人定員、職員：13人)



かさ上げした建設予定地



鍬入れを行う有富理事長
(写真左)